

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月30日	
山口県知事 殿	
提出者	
住 所 神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地	
氏 名 JFEテクノス株式会社	
代表取締役社長 能登 隆	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 045-505-7370 (担当部署)	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	JFEテクノス株式会社
事業場の所在地	神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地
計画期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D08 建設業/ 設備工事業
②事業の規模	元請完成工事高 1, 239, 765万円
③従業員数	653人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場 → 産業廃棄物収集運搬業者 → 産業廃棄物処分業者 各工事において、産業廃棄物処理委託契約を締結

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 金属くずを有価物として処理推進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 金属くずを有価物として処理のさらなる推進 ダンボールを有価物として処理推進		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物の種類が複数発生する場合には、極力分別し産業廃棄物処理業者に委託する。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 更なる分別を推進する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	---	---
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	--- t	--- t
	（これまでに実施した取組） 自ら再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	---	---
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	--- t	--- t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら再生利用する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	---	---
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	--- t	--- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	--- t	--- t
	（これまでに実施した取組） 自ら中間処理は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	---	---
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	--- t	--- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	--- t	--- t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら中間処理する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	---	---
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	--- t	--- t
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	---	---
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	--- t	--- t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量		t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） リサイクルに取り組んでいる中間処理業者を選定。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) リサイクルに取り組んでいる中間処理業者の選定の継続的推進。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(令和7年度計画)

多量排出事業者 名 称	JFEテクノス株式会社	所在地(市町名)	神奈川県横浜市鶴見区米広町	事業の種類	D08 建設業/ 設備工事業
-------------	-------------	----------	---------------	-------	----------------

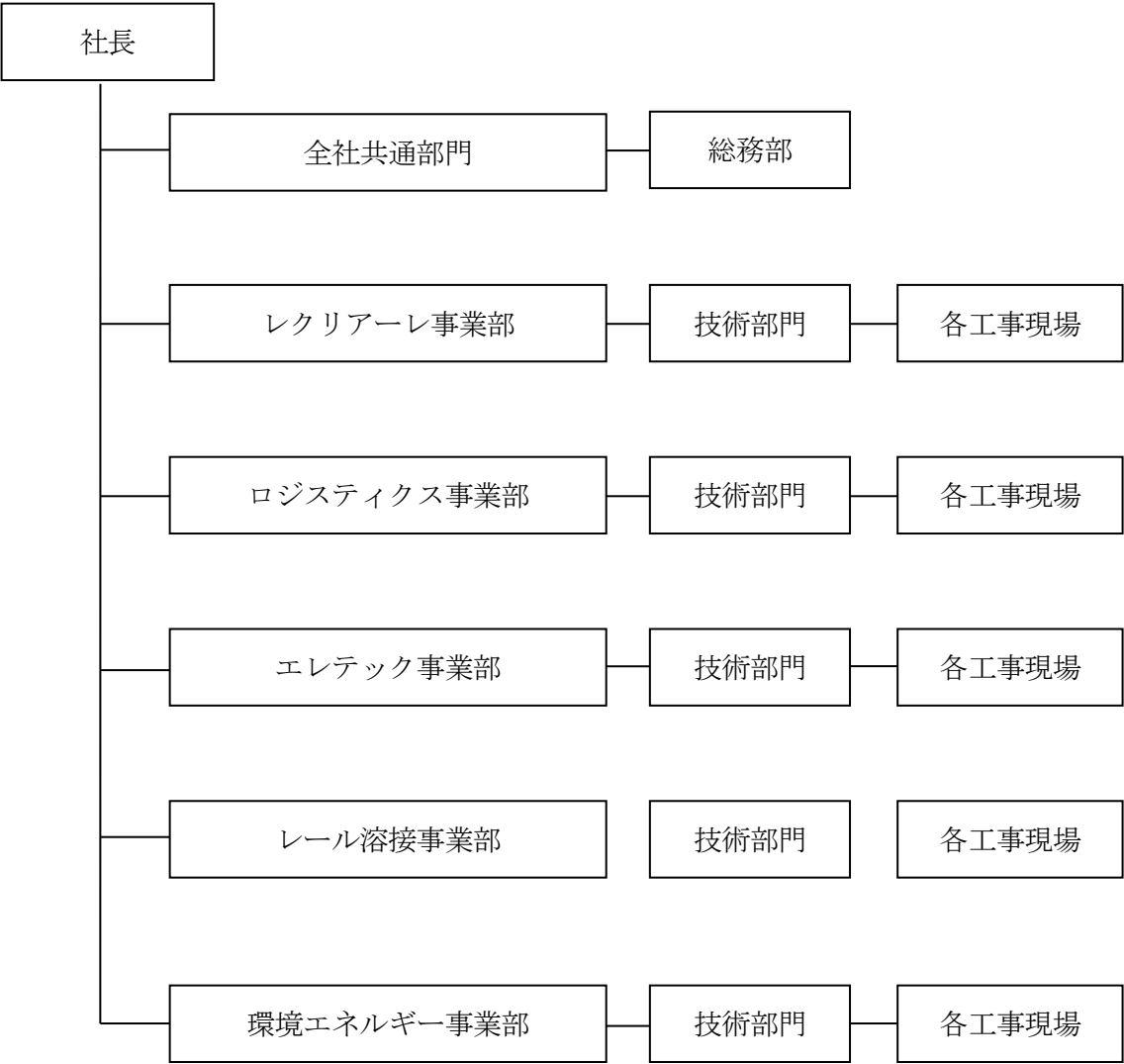
(単位：トン)

区分	種 類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
産業廃棄物	燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	汚泥	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	廃油	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.12	0.00	0.00	0.00	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	廃酸	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	廃アルカリ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	廃プラスチック類	8.76	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8.76	2.00	0.00	0.00	7.44	1.70	0.00	0.00	0.00	0.00
	紙くず	9.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.48	0.00	0.00	0.00	9.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	木くず	524.78	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	524.78	1.00	0.00	0.00	524.78	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00
	繊維くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	動植物性残さ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	動物系固形不要物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	ゴムくず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	金属くず	22.75	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	22.75	2.00	0.00	0.00	22.75	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	鉱さい	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	がれき類	497.60	40.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	497.60	40.00	0.00	0.00	497.60	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	動物のふん尿	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	動物の死体	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	ばいじん	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	13号廃棄物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	混合廃棄物	1.70	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.70	1.00	1.30	0.50	1.63	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
計 (A)		1,065.19	46.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,065.19	46.00	1.30	0.50	1,063.80	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00

別紙

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

●現状 前年度(令和6年度)実績

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず
排出量 (トン)	0.12 t	8.76 t	9.48 t

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	がれき類
排出量 (トン)	524.78 t	22.75 t	497.60 t

産業廃棄物の種類	混合廃棄物		
排出量 (トン)	1.70 t		

●計画 目標 (令和7年度)

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず
排出量 (トン)	0.00 t	2.00 t	0.00 t

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	がれき類
排出量 (トン)	1.00 t	2.00 t	40.00 t

産業廃棄物の種類	混合廃棄物		
排出量 (トン)	1.00 t		

産業廃棄物の処理委託に関する事項

●現状 前年度(令和6年度)実績

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず
全処理委託量(トン)	0.12 t	8.76 t	9.48 t
優良認定処理業者への処理委託量(トン)	0.00 t	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量(トン)	0.12 t	7.44 t	9.48 t
認定熱回収業者への処理委託量(トン)	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(トン)	0.00 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	がれき類
全処理委託量(トン)	524.78 t	22.75 t	497.60 t
優良認定処理業者への処理委託量(トン)	0.00 t	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量(トン)	524.78 t	22.75 t	497.60 t
認定熱回収業者への処理委託量(トン)	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(トン)	0.00 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の種類	混合廃棄物		
全処理委託量(トン)	1.70 t		
優良認定処理業者への処理委託量(トン)	1.30 t		
再生利用業者への処理委託量(トン)	1.63 t		
認定熱回収業者への処理委託量(トン)	0.00 t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(トン)	0.00 t		

●計画 令和7年度 目標

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	紙くず
全処理委託量(トン)	0.00 t	2.00 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量(トン)	0.00 t	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量(トン)	0.00 t	1.70 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量(トン)	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(トン)	0.00 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず	がれき類
全処理委託量(トン)	1.00 t	2.00 t	40.00 t
優良認定処理業者への処理委託量(トン)	0.00 t	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量(トン)	0.10 t	0.20 t	4.00 t
認定熱回収業者への処理委託量(トン)	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(トン)	0.00 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の種類	混合廃棄物		
全処理委託量(トン)	1.00 t		
優良認定処理業者への処理委託量(トン)	0.50 t		
再生利用業者への処理委託量(トン)	1.00 t		
認定熱回収業者への処理委託量(トン)	0.00 t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(トン)	0.00 t		